新しい音声認識スクリプトの使い方

■事前準備

音声ファイルを/opt/talker/wavFiles/[キャラクター]ディレクトリに配置します。

8月16日現在では、吉川さん作成/江口がファイル名を変更した、「male」モデルの使用がデフォルトになっています。

[音声ファイル](https://drive.google.com/open?id=0B9s8I7VUz3qpflF6bnR6bzlyVktrYWVocFNRSWNvc2FYN3VyaDlrMEdpTWdCTC1YNnUzUUE)をダウンロードして、/opt/talker/wavFiles/male下に展開してください。

■実行方法

実行ファイルはtealion\_client.rbです。

起動前に、まずjuliusをmoduleモードで起動しておきます。

julius -C lifeSound.jconf -input mic -module

その後、tealion\_client.rbを実行します。

ruby tealion\_client.rb

■補足：音声モデルについて

各モデルごとの、状態に応じた音声ファイル名は現在固定としています。対応するファイルがない場合はエラーとなります。

以下に、状態とファイル名の対応表を掲載します。

|  |  |
| --- | --- |
| おはよう | ohayo.wav |
| こんにちわ | konnnichiwa.wav |
| こんばんは | konbanwa.wav |
| おやすみなさい | oyasuminasai.wav |
| おかえりなさい | okaerinasai.wav |
| 無入力が続く場合（さみしい） | samishii.wav |
| 手洗い音を認識した場合 | te\_aratta.wav |